

特集

ごみ分別 その先へ

～分別されたごみがたどり着く場所～

私たちが生活するうえで必ず出る「ごみ」。

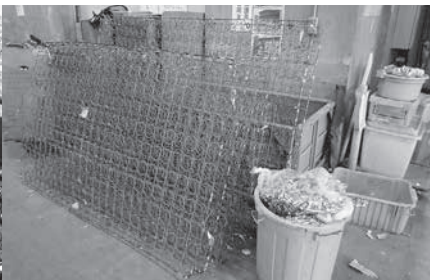
分別やリサイクルなど、ごみ減量化に対する意識は定着しつつありますが、それでもごみは大幅に減少してはならず、自然環境はもちろん、時には私たちの健康にまで悪影響を及ぼすことがあります。

今回は、*中空知衛生施設組合「リサイクリーン」に運ばれた私たちのごみがどのように処理されているのか、そして近年世界的な問題となっているプラスチックごみの処理について考えてみましょう。

※滝川市・芦別市・赤平市・雨竜町・新十津川町で構成



▲粗大ごみや資源ごみは、リサイクルするために必要な素材ごとの細かな分別を係員が行います。



▲昨年度にリサイクリーンで回収した滝川市（21,017世帯）の生ごみと燃やせるごみの総重量は*6,509トンに及ぶ。

※出典：第2次滝川市環境基本計画・地域行動計画年次報告書（令和4年度版）



▲空きびん（係員が、色つきびん・透明びんなどに細かく分別）や自転車などの鉄製品も、専門業者に引き取られます。



▲空き缶、ペットボトル、雑誌、段ボールは圧縮されて専門業者に引き取られます。



▲発火する恐れのあるリチウム電池などは厳重に保管され、専門業者によって適切に処分されます。

滝川市のプラスチック処理方法について聞いてみた!!

Q 滝川市で行われているプラスチックの処理方法について教えてください。

A 滝川市では燃えるごみの焼却処理で出された廃熱をエネルギーとして利用する「サーマルリサイクル」と呼ばれる手法でプラスチックを処理しています。燃やせるごみの焼却や、加熱・分解させた際に発生するエネルギーを使って発電し施設内で使用するほか、余った電気を売却して収入の一部としています。

なお、昨年度は北海道内の一般家庭における平均年間消費電力に換算すると約1,044世帯分相当の4,080,960kwhが発電されました。

※出典：第2次滝川市環境基本計画・地域行動計画年次報告書（令和4年度版）

寄谷編集委員長による中空知衛生施設組合千葉次長へのインタビュー

Q プラスチックの新処理方法について検討していることがあれば教えてください。

A 「容器包装リサイクル法」に基づき、ラベルを外したペットボトルのみの回収を令和4年4月から開始しています。また、中空知衛生施設組合に所属する滝川市以外の2市2町にプラスチック処理に係るごみ処理組成調査を実施しています。プラスチックの処理については、設備の更新、回収業者の確保などの課題があり、すぐに実現することは難しい状況にありますが、国の動向を踏まえ、プラスチックごみの発生を抑える対応や処理の仕方などが日常生活に定着するような施策を進めていきたいと考えています。



危険「まあ、いいか」があわや大事故に!



▲燃えないごみの中に混入していたガス缶が破裂し、ごみ収集車の中で火災が発生。

ポイ捨て禁止! ごみはごみ箱へ!!!

ポイ捨ては景観を損ねるだけでなく、地球環境を悪化させ、時には火災や交通事故の原因となる可能性もあります。

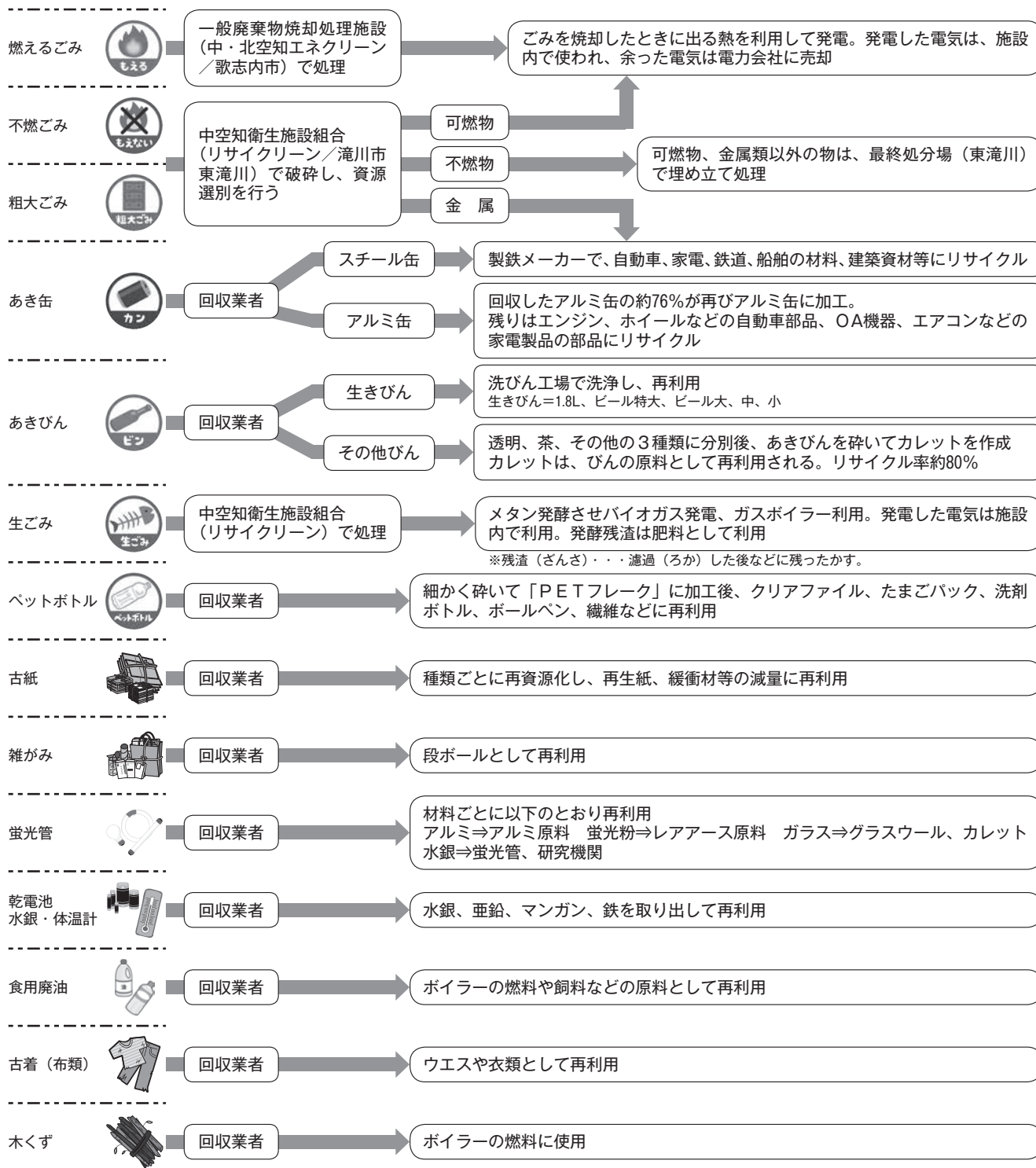
ごみのポイ捨てをなくし、快適に過ごせる、住みやすいまちにするために、皆さんのご協力をお願いします。





回収した後のごみはどんなふうになるの???

そんな疑問にズバリとお答えします!!



中空知衛生施設組合議会をご存じですか？

中空知衛生施設組合を構成する市や町の首長ならびに選出された議員が集まり、同組合の運営や予算などについて話し合う会議のことです。本市からは、5名の議員が参加しています。



※11/24に開催された令和5年第2回中空知衛生施設組合定例会。
滝川市からの代表議員1名は欠席。

おしらせ 「美ola (ピオラ)」 販売中！

リサイクリンでは、生ゴミから生まれた肥料「美ola (ピオラ)」を販売しています。販売方法や料金については、リサイクリンに直接お問い合わせください。

◇中空知衛生施設組合リサイクリン
住 所：滝川市東滝川760番地
T E L：0125-75-3800